

吉川地区敬老会 吉川地区文化祭 吉川ふれあいまつり

について

吉川地区敬老会・吉川地区文化祭・吉川ふれあいまつりにつきまして、先日行われました、区長会、社会福祉協議会、公民館運営協議会、まちづくり協議会の各会議におきまして検討した結果、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「住民の安全性」を最重要と考え、今年はやむなく中止の判断となりました。

なお、敬老会の式典は中止となりましたが、対象者（75才以上）の皆様には吉川地区より記念品を届けさせていただきます。また、ふれあいまつりの代替え事業として3密を避けて、鯖江市指定文化財「三床山城跡」に登ろう！（雨天中止）を開催予定です。詳しい内容は、9月号に掲載いたしますので、しばらくお待ちください。

よしかわだより 8月号



令和2年7月25日発行
吉川公民館 大倉町5-14-1
TEL (0778) 62-1020 FAX (0778) 62-0700
E-mail SC-CC-Yoshikawa@city.sabae.fukui.jp

吉川地区の人口 7,070人
(男3,481人 女3,589人)
前月比 2人減

世帯数 2,318世帯
(前月比 3世帯増)
(7月1日現在・外国人含む)

アドレスQRコード

伝統野菜では全国初の「地理的表示保護制度」の登録を受けた 「吉川ナス」

吉川地区を
学ぼう！

平成28年7月12日、「吉川ナス」が全国で14番目、伝統野菜では全国初の「地理的表示保護制度」の登録を受けた。この制度は、地域に長年培われた伝統的生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性が、品質などの特性に結びついている製品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し、保護しようとする制度で、まさに吉川ナスの歴史に相応しいものであった。

吉川地区は日野川の支流である天王川流域に位置し、川の氾濫等で肥沃な土砂が堆積した土地であり、戦前から稲作以外の「副業」として野菜の栽培にも力を入れ、福井県内でも先進地域となっていた。



「吉川ナス」は、そうした農産物のひとつで昭和17～18年頃には川去町・田村町を中心に盛んに生産されていた。しかし、昭和30年以降の圃場整備事業によって、耕作条件が激変し、さらに兼業農家が増加するにつれて、野菜栽培農家そのものが減少していった。

また、吉川ナスは品質改良がなされていないために栽培が難しく、収穫量も少なかった。こうした中で、品質改良された多収型ナスが登場すると、伝統的な吉川ナスを生産する農家は次第に減少していき、やがて1戸のみとなった。

平成21年に最後の生産農家が逝去され、一時生産が途絶えかけたが、その遺族から種を譲り受けた有志農家らは「鯖江市伝統野菜等栽培研究会」を結成し、吉川ナスの再興に成功した。

吉川ナスは、外皮が薄く肉質が詰まっているという特性に加え、味が濃く大果で形状も独特であることから、他のナスとの差別化や販売PRを行い、ブランド価値の向上に努めた結果、高値で取引されるまでになった。現在では、鯖江市内の各所で栽培され、年間1万個を出荷するまでになっている。（吉川地区史453ページより）

油と相性の良いナスは、和・洋・中どの料理も合います。鯖江市HPでも吉川ナスのレシピを公開しておりますので是非参考にしてみてください。

事業中止のおしらせ

毎年9月頃を開催しております『秋の西部地区一人暮らし高齢者の集い“笑顔でふれあい”』（共催：立待地区・吉川地区・豊地区社会福祉協議会、西部民生委員児童委員協議会）につきましては、新型コロナウイルス感染防止のため中止させていただきます。

ご理解とご了承お願いいたします
吉川地区体育協会より
8月に予定しておりました、『ソフトボール大会』につきまして新型コロナウイルス感染防止のため、中止とさせていただきます。

吉川小学校3年生の皆さん 吉川公民館へようこそ！

7月7日（火）吉川小学校3年生81名の児童の皆さんが「まち探検」の授業で吉川公民館の見学に来ました。

吉川地区の概要や、公民館の仕事内容についての説明後、クラスごとに施設内や防災資機材倉庫も見学しました。児童の皆さんは熱心にメモをとりながら自分たちが暮らす地域のことについて、楽しく学んでいました。



8月のまちづくり協議会予定

8/4(火)まつり実行委員会
(代替え事業→三床山登山)
8/7(金)安全安心実行委員会と合同パトロール
8/22(土)環境福祉実行委員会

8月の休館日

2日(日)・10日(祝)・11日(火)
16日(日)・25日(火)

交通安全協会より ちょっと待って！

急がなくても目的地は逃げません。
7/11～20は夏の交通安全県民運動期間です。スピードオーバーは事故の元ですので、皆さん安全運転をお願いします。
吉川地区事故件数 (6月1日～30日)
・人身事故1件 ・物損事故 9件

地域支え合い推進員からのお知らせ

感染への不安や心配…

大都市を中心に、新型コロナウイルスの感染者が増加している状況がみられます。私たちの暮らしは大きく変わり、誰も経験したことのない状況の下、ストレスや不安などを抱えながら毎日を送っている人も多く、「コロナうつ」と呼ばれる状態になっている人が増えています。コロナに対する不安や恐怖をコントロールするには

- ①正しい感染予防に取り組む
- ②情報に過剰な反応をしない
- ③生活リズムを整え免疫力を高める
- ④緊張を和らげる方法を身に付ける

が効果的です。不安が続くと生活習慣が乱れがちになり免疫力が低下するので、栄養バランスの取れた食生活、良い睡眠といった生活習慣を意識的に心掛けてください。（推進員 青山）